

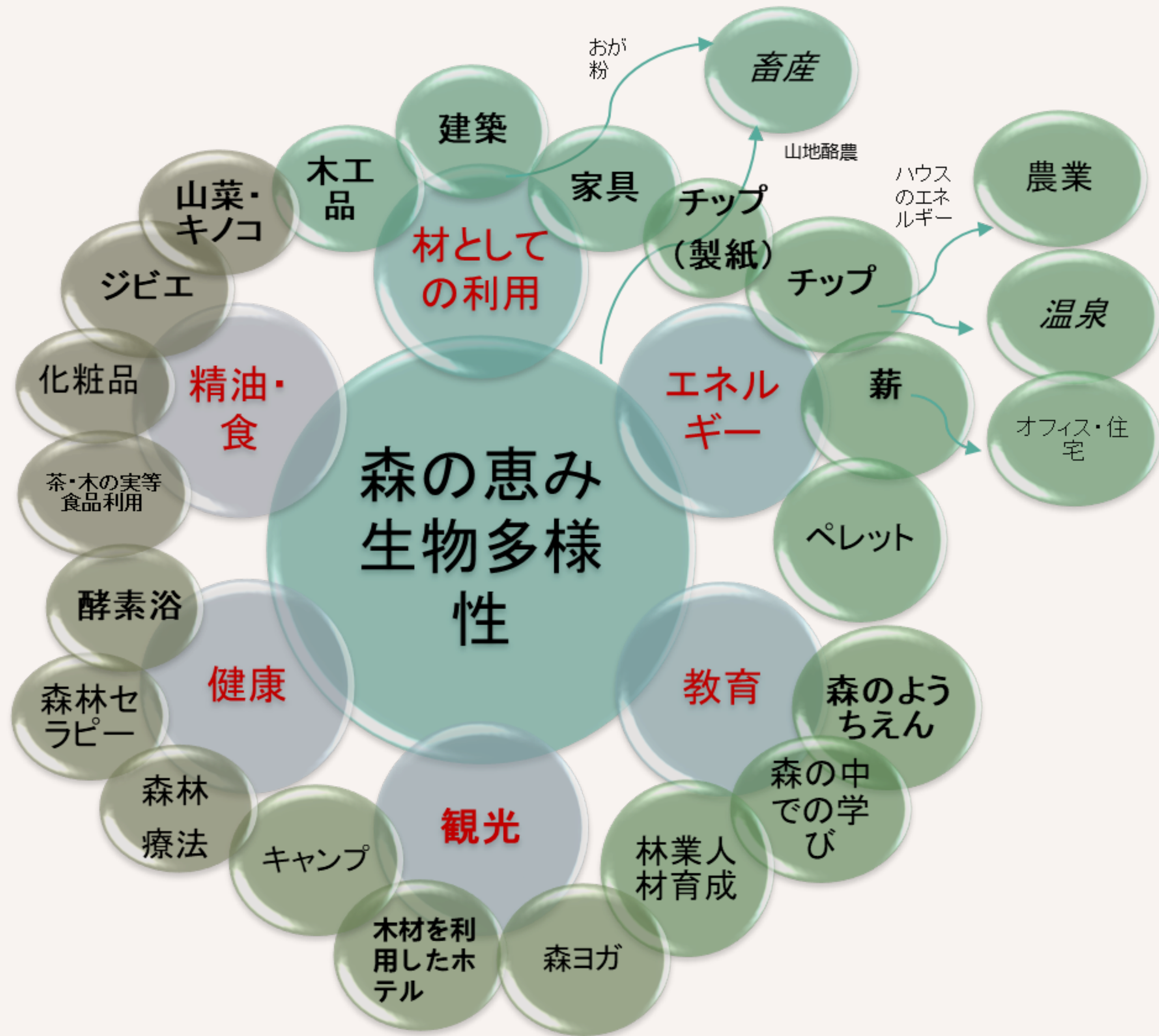
八ヶ岳山麓の
50年の森ビジョン
に向けて



富士見まちづくりラボ

地域の資源を生かした地域内経済循環のまちづくりを推進





03

富士見町・八ヶ岳山麓関係事業者へのヒアリング

森に関連する 事業者

林業

柿澤建設株式会社
細川木材株式会社
雨宮興業
諏訪森林組合
緑化創造舎

特殊伐採・伐採事業

久保井土木
今井建設
明治建設企画株式会社
高橋淳さん・高橋涼さん

チップ製造

雨宮興業
タカトミ小林組

森林所有

富士見財産区

木材の利用に関連 する事業者

製材事業

細川木材（プレカット）

材木・建材事業

小松木材
吉田建材

建築事業者

角大
建築工房藁
(株)雨宮
アトリエDEF
大上建築事務所

木工事業者

名取木工（建具）
安部木工（家具）

森林資源の多様な 利用

バイオマスエネルギー

みのり建設
富士見高原リゾート
フォーレストエナジー

薪ストーブ販売

ストーブ生活

森を活用した観光 ・教育

東急リゾート
富士見高原リゾート
自然学校ヤッホー

01 八ヶ岳山麓の現状（木材の利用）

豊かな
動植物を育む
生物多様性の宝庫

水を貯え
清浄な空気
をもたらす

材木・燃料
の供給

林産資源の宝庫
(キノコ、
山菜、薬草)

広葉樹もあり
檫、桜、桑などは
高く売れる



私有地で急斜面の里山
の管理が行き届かない

不在地主も多い
自分の森に行ったこ
とがない

林業の携わる
人材が足りない

林業士等
専門の知見を持った
人が少ない

資源構成や林齢
に偏りがある

住民・所有者が
森の整備の
実態を知らない

里山整備の
仕組みを
学びたい

間伐？皆伐？森づく
りのビジョンが共有
されていない

富士見の森の現状が
見える化されていない

01 富士見町の現状（木材の利用）

カラマツ
市場や工場直送で
メインが合板
・チップへ

ヒノキ
質が良くない

アカマツ
昔は梁として
使われていた
梁・床材として
使いたい

カラマツ
天井材、床材で
使いたい

アカマツ
市場や工場直送で
チップ

富士見の
宝の森



A材も材として
使われていない
可能性

床材・天井材が海外
から入って
こなくなった

国内材だと
サイズがとれない

製材所が
ほとんどない

富士見で
人工乾燥できる
ところがない

松くい虫の被害も
始まっている

広葉樹もあり
欅、桜、桑などは
高く売れる

地元材を単独で使う
場合はロスがでる。
材木屋で
買った方が安い

国産材、地域産材を
使いたいというニー
ズが少ない

01 富士見町の現状（木材の利用）

伐採・搬出しても
枝葉は
残したまま

アカマツ
チップ



材のまま地域外に
出されているので
チップ化できる部分
も地域外へ

チップ化
されたものが
県外へ

燃料費高騰の中で
初期投資の負担が軽
減できれば、
木質バイオマスを検
討したい

薪需要は
増えている

広葉樹の
薪が不足している

薪ステーション
が欲しい

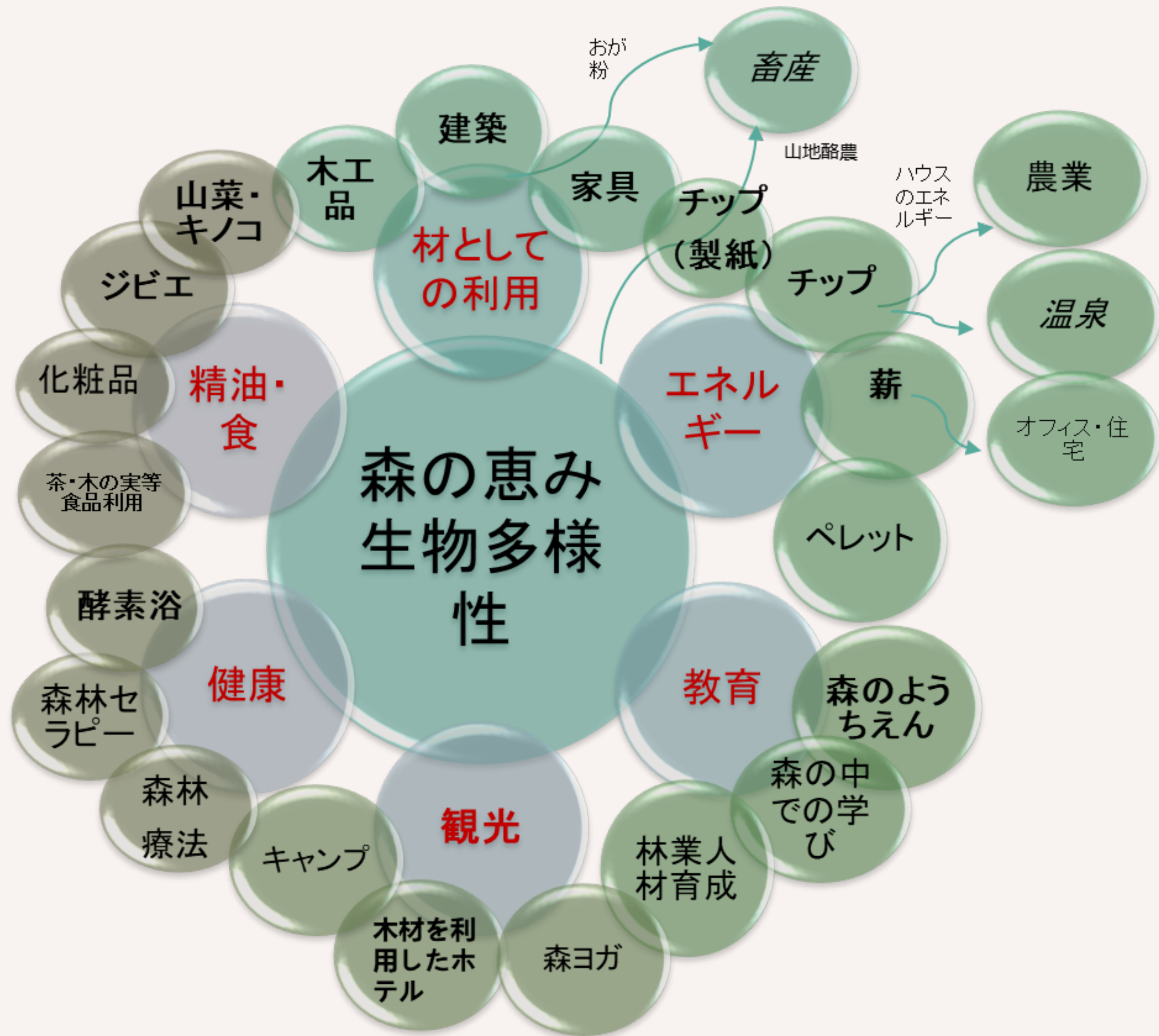
針葉樹が使える
薪ストーブの
普及が必要

搬出・運搬コスト
をだれが
負担するか？

初期投資ゼロの
第三者設置の
事業者も出てきてい
る

木質バイオマス/
燃料供給と
設備導入を一体化し
て検討が必要

バイオマスは
熱利用か
発電（熱電併給
か）？



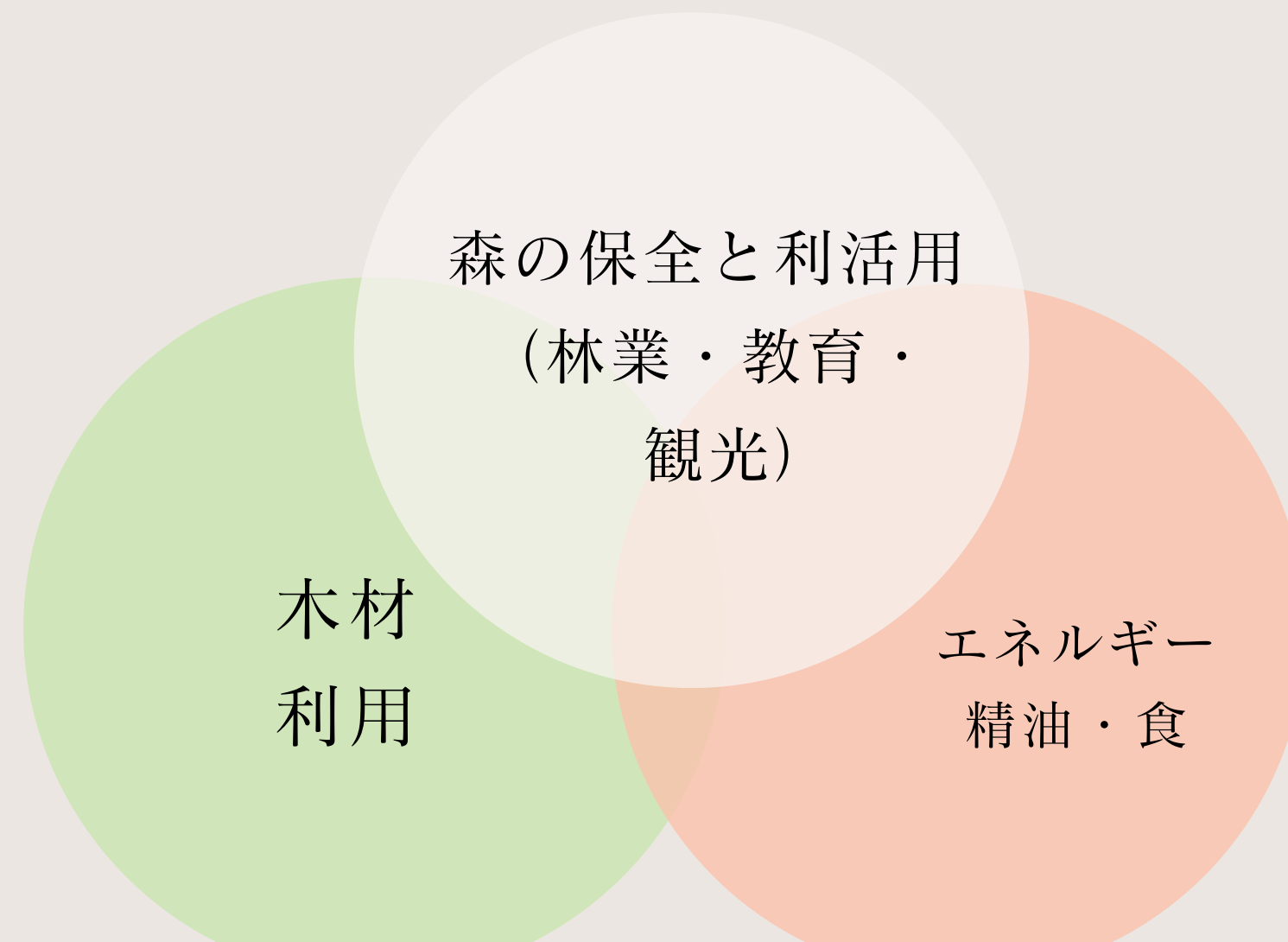
02 富士見町の森・木の地域内経済循環に向けて

富士見町の持続可能な森づくりと地域内経済循環を担う活動

森の中での森林資源の活用：林業、観光、教育

木、材としての利用：製材、材木屋、工務店、建築、不動産、木工

森林資源の多様な利用：バイオマスエネルギー（熱・電気）、精油、食（山菜、ジビエ）



富士見町における宝である森・富士見町においてどのような森づくりをしていくか

共有財産としての森づくり

森の活用による地域経済循環



- ・ 生物多様性を高める自然環境保全の森
- ・ 山地保全（土砂災害の防止）
- ・ 水源涵養・水資源保全の機能の工場
- ・ 森林生態系の健全性と活力

- ・ 森林の生産力と林業経営の向上
- ・ 適地適木を評価した森林づくり
- ・ 森林資源のカスケード・循環利用
- ・ 林業、木材・建築・木工産業の振興
- ・ 市民の森へのふれあい（教育・観光）

企業

林業事業体

森林所有者

建築事業者

木工事業者

観光事業者

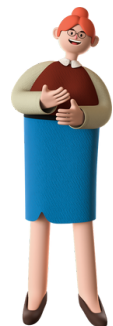
自然教育

農家

行政

エネルギー事業者

市民



02 森づくりの課題

富士見の
森づくりの
ビジョンが必
要では？

行政、事業
者、森の所有
者、市民との
ビジョンの共
有

ビジョン実現
に向けた関係
者の協業の場
づくり

參考資料



ソーシャル・フォレストリー都市「伊那市」

(出典) 伊那市50年の森林ビジョンより

西粟倉村百年の森林構想

西粟倉の 森林の 100年

現在の西粟倉村の森林

50年後の森林。

私たちが目指すのは、
これから50年後の森林。

1年

元々林業で成り立っていたこの地で、約50年前に、子や孫のために、苗木を植えた。

25年

植林した苗木がすくすくと育って行きます。密集した木々は、上へ上へとその長さをのばしていきます。

50年

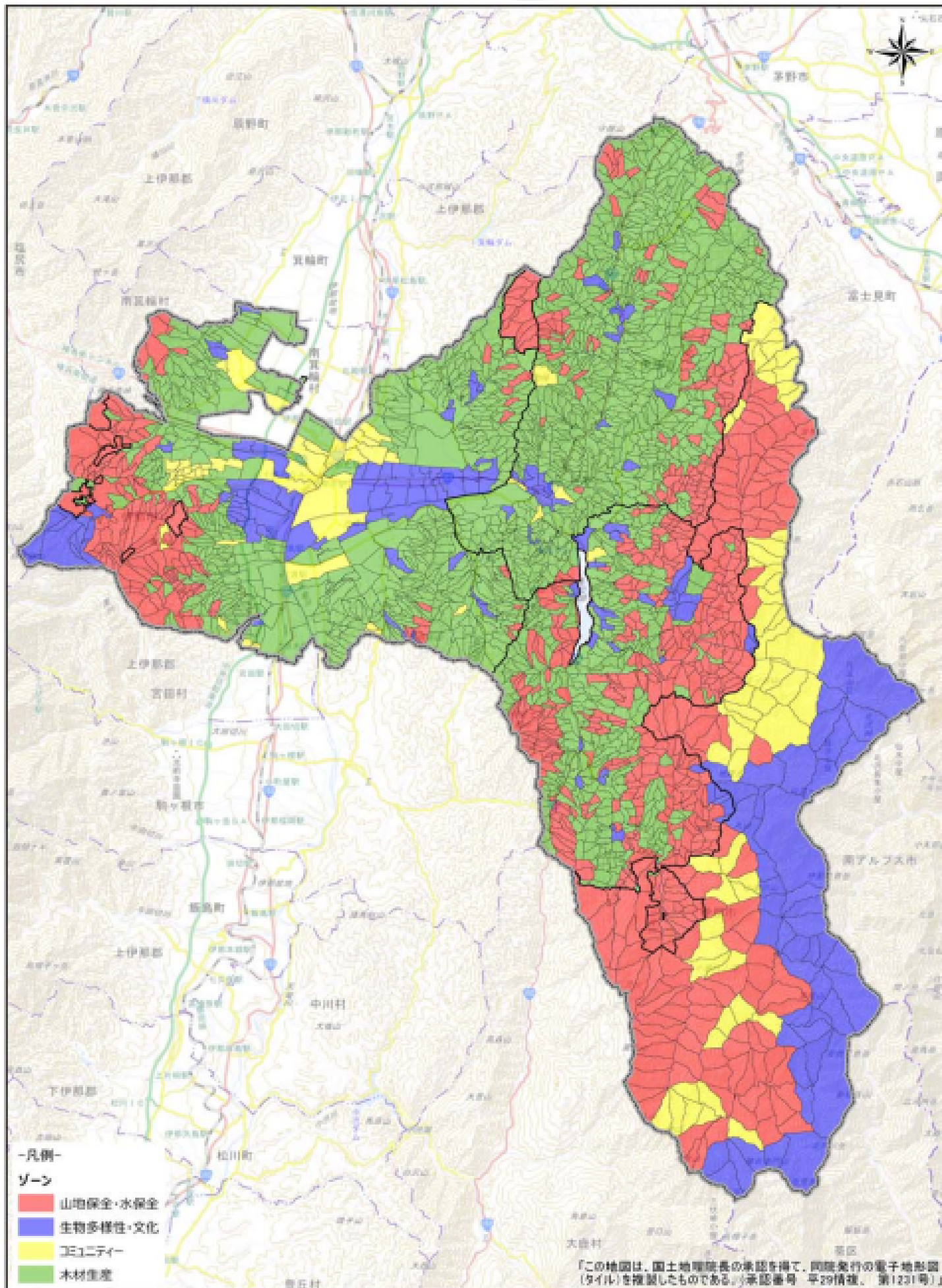
ある程度成長した木々の間伐を行い、地面に日光が届くよう、森の密度を調整していきます。

75年

木々の幹も太くなり根もはり、保水林となり、したくさなども経てきます。少しずつ鳥も棲む始めます。

100年

しっかりと山に根ざし、木の通り道として川も自然につくられます。山の動物たちのすみかとしても利用されています。



伊那市50年の森林 ゾーニング (伊那市全域)

「山地保全・水保全ゾーン」

- 山地災害を誘発させない（保安林や砂防指定地）、または潜在的に土砂崩壊や土石流が発生しやすい環境の森林
- 水源涵養（水を育み水質を向上させる）において重要な森林

「生物多様性・文化ゾーン」

- 生態的価値の高い森林（自然公園など）や希少動植物が生息・生育する森林または生息環境を維持・保全しなければならない森林
- 後世に引き継がなくてはならない文化財、希少な樹木等などの森林

「コミュニティゾーン」

- 憩いやレジャーの場等のレクリエーションの森林や、市民交流の森林
- 市民として、身近な里山等、地域への帰属意識をもって向き合う森林

「木材生産ゾーン」

- 「木材生産ゾーン」は、上記の3つのゾーン以外の森林で、環境に負荷を与えず、林業活動を行える森林
- 過剰伐採、土地の改変をしない、持続可能な森林管理・経営を目指す森林

西粟倉の森林の100年
地域には、捨てるはいけないものがあります

苦労を重ねて地域を守ってきた先人のため、これから生きていく子どもたちのため、
そしてこの地域に愛着をもち関わってくださるたくさんの方々のため。

約50年前に、子や孫のためにと、木を植えた人々の思い。

その思いを大切に、立派な百年の森林に育て上げていく。

そのためにあと50年、村ぐるみで挑戦を続けようと思いを決意しました。

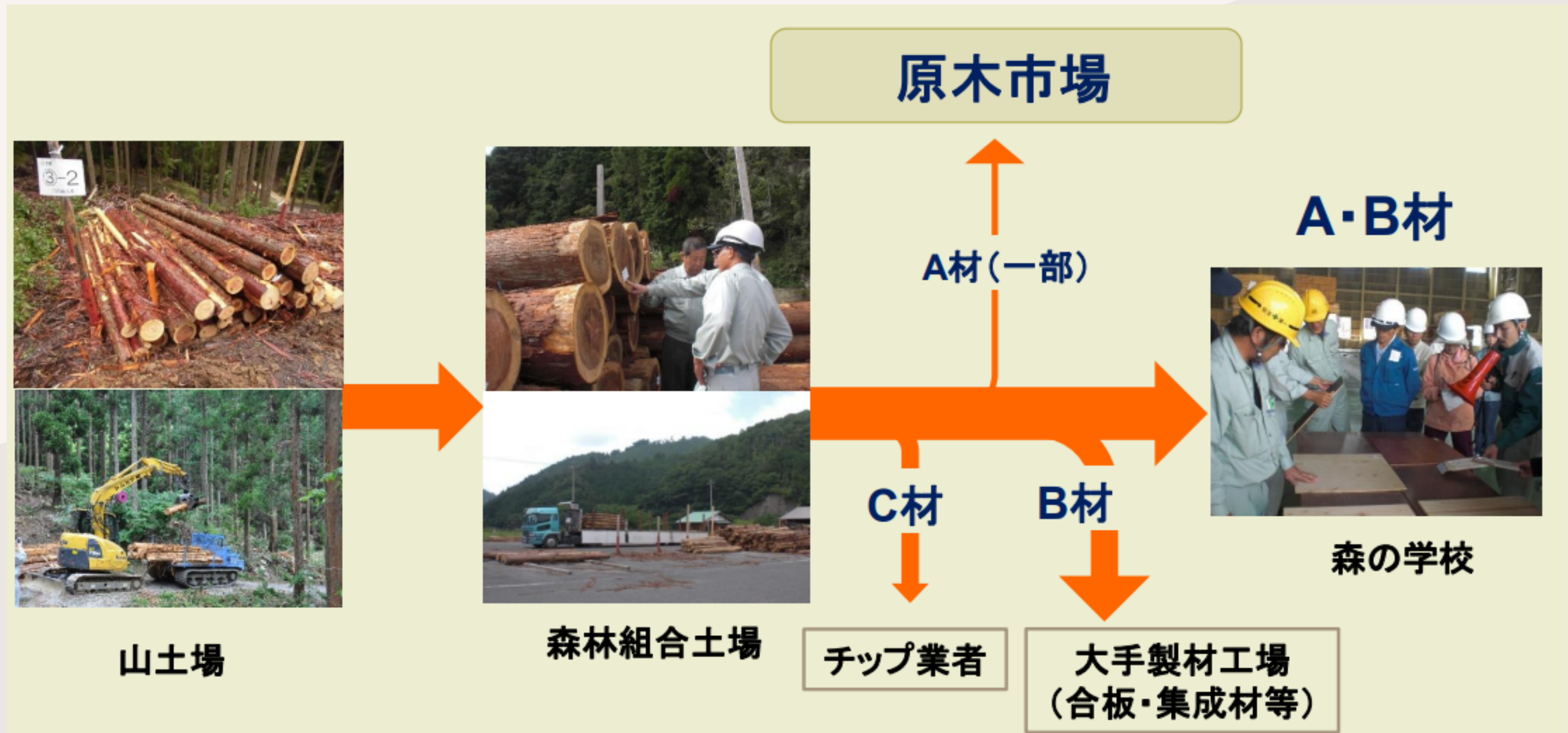
西粟倉村は、人口1500人ほどの源流域の小さな村です。このような小さな村だからこそ、

未来に向けて心と心を丁寧に繋ぎあわせていくことができるはずで

世代を越えて、そして地域を越えて、未来への思いを共有する森づくりへ。

そして、大切な自然の恵みを大切な人たちと分かち合う上質な田舎づくりへ。

森林資源の地産地消のイメージ



・市場中心の販売から、森林組合土場での直接販売

「百年の森林事業」の間伐材の流通



岡山県西粟倉村資料より

Point3

多様な「産業クラスター」

Pioneer
木工

木 薫
西栗倉・森の学校
ようび

木工

関野意匠室＋絡操堂
mori no oto
Kodama
フレル
尾崎漆工房

医療福祉

中間支援等

エーゼロ
ようび
sonraku

いとう歯科クリニック
こじか助産所
ネ
Social Animal Bond

教育

にしあわくらモン
テッソーリ子ども
の家
NEST
ほんまもん

エネルギー

Sonraku
Motoyu

森林計画

百 森

衣・小物

UKIYO
SOMEYASUZUKI
SIBUYA靴
MAMO
SAOL

不動産

クラシカ
エーゼロ

福祉

じゅ〜く

森林整備

青 林
岡田林業
清 勝

デザイン

nottuo
ようび
西栗倉・森の学校
Nabeshima Design

建築

ようび
エーゼロ

食

Ablabo
フレル食堂
maison de frouge
エーゼロ
くんちでん
チーズ観光協会
おさじ
喫茶サーナの家

酒屋

酒うらら

宿

元湯
軒下図書館
天徳寺
あるの森

コンサルティング

げんこつ
野々企画
Forest Eye
エーゼロ

万屋

小松組

ジビエ

エーゼロ
野々肉
ES

研究

むらまるごと研究所

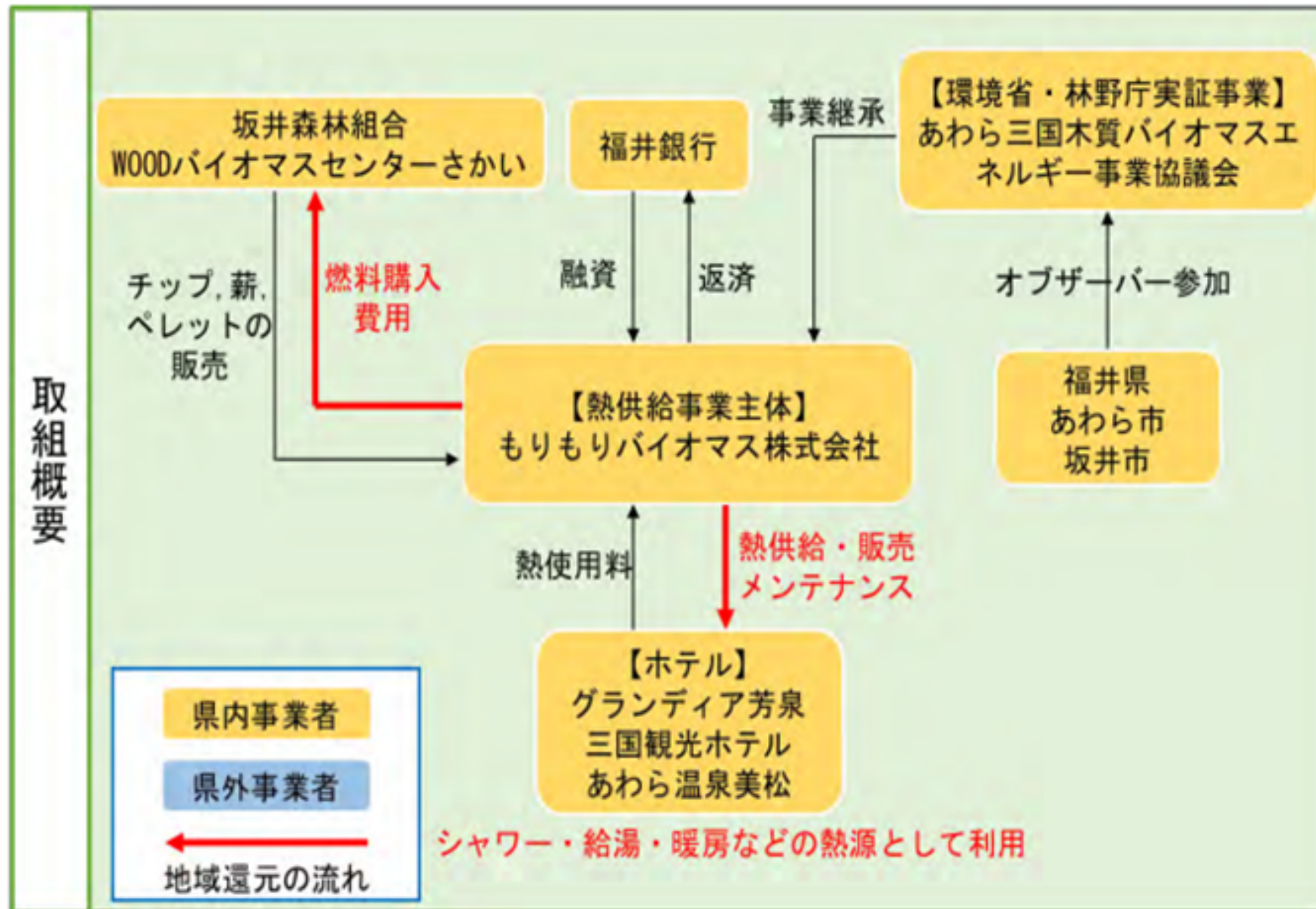
You tuber

JPチャン
ネル

【木質バイオマス熱供給：もりもりバイオマス株式会社】

木質バイオマスボイラーで作った“熱”をホテルに販売する地域熱供給事業①

- ✓ 環境省・林野庁の事業採択を受けた実証事業により得られた事業ノウハウをもりもりバイオマス(株)が引き継ぎ、原料調達から熱供給、消費までを地域の中で行う地産地消システムを確立した、木質バイオマス熱供給事業。
- ✓ ホテルにある既設のA重油ボイラーに併設してお湯を供給することで、熱生産の一部を木質ボイラーに代替できるため、A重油ボイラーの燃料代等を削減することが可能。更にホテル側は設備投資や運用費用が掛からず、熱の購入費用のみを負担するモデル。また、定期的な視察の受け入れも行っている。



所在地	福井県あわら市
事業主体	もりもりバイオマス株式会社
ボイラー名 (出力)	ヴァルト(200kW), ウータン(120kW),シルワ(120kW), スンリン(300kW),ナヘル(300kW)
電源種別	木質バイオマス熱供給
運転開始時期	ヴァルト：2015年4月 ウータン・シルワ：2015年12月 スンリン・ナヘル：2016年5月



グランディア芳泉に導入した木質ボイラー「ヴァルト」

写真出典：もりもりバイオマス株式会社.事業内容. <http://morimori-biomass.jp/business/>



MESSAGE

メッセージ

業界もエリアも越境して、森の価値を再発見しよう

森に関わる100の仕事をつくる

INA VALLEY FOREST COLLEGEは、業界を超えて森の価値を再発見、再編集して、豊かな森林をつくることを目指す学び舎です。

森と暮らしが遠くなってしまった今、森は健全性が失われ始めています。もう一度、森林と私たちの暮らしが近い未来をつくり、豊かな森に戻していきたい。

森林業界に止まらず、他業種の方々と連携していく中で創出していくことが、これからの新しい森づくりだと考えています。講師陣には、森のプロフェッショナルはもちろん、デザイナーや建築士、教育、アウトドア、といった様々な業界の方々をお呼びして、森の価値について考えていきます。

森や地域、まちづくりに興味のある方のご参加をお待ちしています！

伊那谷フォレストカレッジとは

(出典) 伊那谷フォレストカレッジ資料より



CONTACT

お問い合わせ

INA VALLEY FOREST COLLEGE のイメージ

伊那谷の森林に関わる様々な資源

- 伊那谷の森林資源
- 伊那谷の山主
- 林業・森林業界の人材
- 森の利用側の人材
- 伊那谷の文化

地域内外の他業種を含む人的資源

- 地域内外からの様々な業種の受講者
- 地域内外の他業界のトップランナー
- 大学生
- 行政関係者など

